

都市再生整備計画 事後評価シート

岐阜市中心部地区

平成30年3月

岐阜県岐阜市

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	岐阜市中心部地区			面積	248ha
交付期間	平成26～平成29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,631	国費率	0.400		

[illegible]

	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
					基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
2)都市再生整備計画 に記載した目標を 定量化する指標 の達成状況	指標4	にぎわい拠点施設利用者 数	人/年	0	H25	600,000	H29	—	1,347,000	○	あり なし	ぎふメディアコスモス及び岐阜市長良川防 災・健康ステーションが完成し、新たな施設 利用者を直接的に増やす要因となった。市 民ニーズにあった施設を整備したことで、開 館当初の想定を上回る利用者数を達成す ることができた。あわせて、ぎふメディアコス モス周辺の道路整備などにより、市中心部 の集客力が高まったものと考えられる。	平成30年11月	
3)その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	指 標		単位	従前値		目標値		数 値		目標 達成度	1年以内の 達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
					基準年度		目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の 数値指標1	事業実施箇所近辺の 歩行者通行量	人/日	4,315	H24			—	5,900			計画区域全体の歩行者通行量を対象とし た指標1では、目標値の達成見込みが見ら れない。一方、本計画で実施した道路整備 事業等の事業箇所近辺の調査地点(6地 点)に着目したところ、歩行者通行量は 30%以上増加しており、計画の目標に掲げ る「回遊性の向上」に一定の効果があった ものと考えられる。	平成30年11月	
4)定性的な効果 発現状況	・ぎふメディアコスモス及び周辺の一体的な整備により、当該施設周辺に訪れる市民が増加しつつある。さらには、ぎふメディアコスモスに訪れた際に柳ヶ瀬地区まで回遊する市民も増加の兆しを見せており、中心市街地全体ににぎわいが広がりがつつある。 ・御館街道の整備は回遊性を高めるだけでなく、ドライバーの速度抑制効果が期待されるカラー舗装や路肩の拡幅により、歩行者の安全性が向上しているものと考えられる。 ・岐阜市長良川防災・健康ステーションにて、地元小学校向けの課外授業や長良川の災害の歴史や水害時の危険性を周知・啓発するパネル展示などを実施しており、市民の防災意識が向上しているものと考えられる。													
5)実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング	なし					都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			
	住民参加プロセス		○岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業、御館街道整備事業、ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)及び長良川プロムナード整備事業において、住民説明会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・事業が完了のため、今後の対応方針は特になし。			
			○みんなの森 ぎふメディアコスモスの整備事業において、事業説明会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・施設整備は、H29年度中に完了予定であるが、引き続き、地域の要望を施設管理等に活かすように努める。			
			○旧加納町役場跡地再整備事業において、説明会、打合せ会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後も継続的に検討を進めるとともに、引き続き、必要な意見交換を行い、事業の実現化に努める。			
			○旧いとう旅館リノベーション事業において、産業創造会議の開催、意見募集を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後も継続的に検討を進めるとともに、引き続き、必要な意見交換を行い、事業の実現化に努める。			
			○(仮称)既成市街地再編整備事業において、地権者アンケート実施、まちなか再生協議会の開催、権利者説明会や検討会開催、他に個別説明会や個別ヒアリングを実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・本事業はH27年で完了しているが、土地区画整理事業の進展に向けて、権利者等との勉強会、意見交換等を、引き続き、実施していく。			
			○立体換地制度を活用した市街地再編整備事業において、検討会、個別ヒアリングを実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・今後も継続する事業であり、採算性や実現性を考慮しながら地権者と密に意見交換を進めていく必要がある。引き続き、検討会や個別ヒアリングを実施していく。			
			○岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業において、住民説明会を実施				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● ・事業が完了のため、今後の対応方針は特になし。			
							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			
			持続的なまちづくり 体制の構築				なし							
							都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				—			

[illegible]

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3－① モニタリングの実施状況
- 添付様式3－② 住民参加プロセスの実施状況
- 添付様式3－③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4－① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4－② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4－③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5－① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5－② まちの課題の変化
- 添付様式5－③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5－④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1－① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	-	-	-
B. 目標を定量化する指標		●	-	-	-
C. 目標値	●		【第2回変更時】 ・主要地点歩行者通行量(指標1) 従前値 33,334人/日 目標値 36,700人/日 【第6回変更時】 ・主要地点歩行者通行量(指標1) 目標値 37,500人/日	【第2回変更時】 ・主要地点歩行者通行量(指標1) 従前値 34,067人/日 目標値 37,500人/日 【第6回変更時】 ・主要地点歩行者通行量(指標1) 目標値 37,200人/日	【第2回変更時】 ・「長良川プロムナード整備事業」を追加したため、主要地点歩行者通行量(指標1)の対象調査地点を12地点から13地点に見直した。調査地点の追加により、当該指標の従前値及び目標値の見直しを行った。 【第6回変更時】 ・市道蕪城町玉宮町線の整備事業(無電柱化、電線共同溝整備を含む)を削除したため、主要地点歩行者通行量(指標1)の目標値の下方修正を行った。
D. その他(計画区域の面積)	●		【第2回変更時】 ・計画区域の面積 231ha	【第2回変更時】 ・計画区域の面積 248ha	【第2回変更時】 ・「長良川プロムナード整備事業」の事業追加に伴い、計画区域の見直しを行った。

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
道路	岐阜大学医学部等跡地周辺	262	340m	262	340m	なし	—	●	
	電線共同溝事業(市道蕪城町玉宮町線)	69	490m	—	—	・地元との協議、調整に時間を要しており、事業スケジュールの見通しがついていないため事業を削除。(第6回変更)	・主要地点歩行者通行量(指標1)の効果に影響する事業であり、指標1の調査地点の1箇所が当該事業箇所に該当するため、事業削除に伴い、指標1の数値目標を下方修正した。	—	—
	新庁舎周辺道路整備事業(市道司町1号線、司町2号線)	—	—	44	320m	・新庁舎整備に伴う交通量増加に配慮し、来庁者等の円滑な交通を確保するため事業を追加。(第5回変更)	・主要地点歩行者通行量(指標1)やにぎわい拠点施設利用者数(指標4)の効果に影響する事業ではあるが、直接的には指標1・指標4に影響しないため、追加による数値目標等への変更はしなかった。		●
地域生活基盤施設	憩い・にぎわい広場整備事業	280	0.9ha	200	1.2ha	・施工箇所が0.9haから1.2haに変更となったため規模及び事業費を変更。(第1回変更) ・名称の確定に伴い、事業名を変更。(第2回変更) ・事業費の精査により、事業費を見直した。(第2回、第4回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	レンタサイクルポート整備(みんなの森ぎふメディアコスモス内)	10	1か所30台	—	—	・みんなの森ぎふメディアコスモス立体駐車場の一部であり、駐車場建設の一連の工事において整備したため、事業を削除。(第6回変更)	・別の基幹事業にて整備は完了しているため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	公共サイン整備事業	19	5基	10	5基	・事業費の精査により、事業費を見直した。(第2回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
高質空間形成施設	御船街道整備事業	214	1,640m	180	1,640m	・事業費の精査により、事業費を見直した。(第2回、第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)	80	910m	86	910m	・事業費の精査により、事業費を見直した。(第4回、第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	市道蕪城町玉宮町線	69	490m	—	—	・地元との協議、調整に時間を要しており、事業スケジュールの見通しがついていないため、事業を削除。(第6回変更)	・主要地点歩行者通行量(指標1)の効果に影響する事業であり、指標1の調査地点の1箇所が当該事業箇所に該当するため、事業削除に伴い、指標1の数値目標を下方修正した。	—	—
	岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	45	340m	33	340m	・事業費の精査により、事業費を見直した。(第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	長良川プロムナード整備事業	—	—	208	650m	・長良川に面する道路であり、住民・観光客の方々が憩えるような魅力的な歩行空間を整備することで、にぎわいの創出を図るため、事業を追加。(第2回変更)	・魅力的な歩行空間の整備は、主要地点歩行者通行量(指標1)の効果に影響するため、事業追加に伴い、指標1の数値目標の上方修正を行った。	●	
高次都市施設	みんなの森 ぎふメディアコスモス	331	0.7ha	221	0.7ha	・事業期間が延長したため、事業期間を見直した。(第4回変更) ・事業費の精査により、事業費を見直した。(第4回、第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	旧加納町役場跡地再整備事業	210	350㎡	—	—	・地元や利害関係者等との施設活用方法についての意見交換に時間を要しており、事業スケジュールの見通しがついていないため、事業を削除。(第6回変更)	・にぎわい拠点施設利用者数(指標4)の効果に影響する事業であるものの、当該事業によって整備する施設の利用者数は、直接的には指標4に影響しないため、数値目標等の変更は行わなかった。	—	—
既存建造物活用事業	旧いとう旅館リノベーション事業	—	—	—	—	・観光や交流の拠点として活用し、にぎわいの創出を図るため事業を追加。(第2回変更) ・地元との調整や建物の現況調査に時間を要しており、事業スケジュールの見通しがつかないことから、事業を削除。(第6回変更)	・観光入込客数の増加(指標3)の効果に影響する事業であるものの、直接的には指標3に影響しないため、数値目標等の変更は行わなかった。	—	—

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

添付様式1－② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	(仮称)既成市街地再編整備事業	18	約100ha	10	約100ha	事業費の精査により、事業費を見直 (第5回変更) 当初予定より早期に事業が完了したた め事業期間を変更(第5回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	立体換地制度を活用した市街地再 編整備事業	—	—	8	0.2ha	都市再生整備計画区域内で、今後実 現化に向けて権利者等との調整や調 査業務を開始するため、新たに追加 (第5回変更)	・調査業務を行っている段階であり、数値目標等には影響しないため、変 更しなかった。		●
	岐阜市長良川防災・健康ステーショ ン整備事業	290	約1,000㎡	312	約1,000㎡	名称の決定に伴い、事業名を変更 (第4回変更) 事業費の精査により、事業費を見直 (第4回、第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	みんなの森にぎわい創出事業	49	—	52	—	事業費の精査により、事業費を見直 (第4回、第6回変更)	・事業実施内容に変更はないため、数値目標等は変更しなかった。	●	
	無電柱化事業(市道蕪城町玉宮町 線)	48	490m	—	—	地元との協議、調整に時間を要してお り、事業スケジュールの見通しがつ いていないため、事業を削除(第6回変 更)	・主要地点歩行者通行量(指標1)の効果に影響する事業であり、指標1 の調査地点の1箇所が事業箇所該当するため、事業削除に伴い、指標 1の数値目標を下方修正した。	—	—
事業活用調査	事業分析調査	5	—	5	—	なし	—		●

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(参考)関連事業								
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考
			当初計画	最終変更 計画	当初計画	最終変更計画		
市街地再開発事業		高島屋南地区	10,052	5,780	平成24年～平成28年	平成27年～平成31年	整備中	
		岐阜駅東地区	6,026	3,142	平成25年～平成28年	平成27年～平成30年	整備中	
都市再生総合整備事業		岐阜駅周辺地区	563	968	平成26年～平成29年	平成26年～平成30年	整備中	
道路事業		岐阜駅高富線(梶川工区)	1,443	1,443	平成20年～平成26年	平成20年～平成26年	完了	
効果促進事業		(まちなか歩き支援事業)岐阜市中心部周辺	11	11	平成26年～平成29年	平成29年～平成29年	未実施	
公園再整備事業		岐阜公園	1,089	1,089	平成26年～平成30年	平成26年～平成30年	整備中	
国直轄河川事業		(長良川岐阜河川防災ステーション)長良川河 川敷	550	550	平成25年～平成27年	平成25年～平成27年	完了	
(仮称)中央図書館整備事業		(暮らし・にぎわい再生事業)岐阜大学医学部等 跡地地区	6,210	6,210	平成22年～平成26年	平成22年～平成26年	完了	

添付様式2－① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値(エ)			目標達成度※2		1年以内の 達成見込みの 有無	
		単位			基準 年度		基準 年度		目標 年度						あり	なし
指標1	主要地点歩行者通行量	人/日	本計画区域内の事業箇所近傍にお ける休日一日の通行者数(13地 点)を計測する。	-	-	34,067	H24	37,200	H29	モニタリング		-	モニタリング	-		●
										事後評価	確定 見込み	●	34,452	事後評価		
指標2	柳ヶ瀬地区新規出店舗数	店舗数	柳ヶ瀬地区の店舗1階に新規出 店した店舗数を計測する。	14	H18	9	H23	11	H29	モニタリング		-	モニタリング	-	-	-
										事後評価	確定 見込み	●	12	事後評価		
指標3	観光入込客数	人/年	周辺の主要観光3施設(岐阜 城、長良川温泉、長良川鵜飼) の年間入込客数を計測する。	-	-	521,709	H24	525,000	H29	モニタリング		-	モニタリング	-	-	-
										事後評価	確定 見込み	●	596,000	事後評価		
指標4	にぎわい拠点施設利用者 数	人/年	ぎふメディアコスモス及び長良 川防災健康ステーションの年間 利用者数を計測する。	-	-	0	H25	600,000	H29	モニタリング		-	モニタリング	-	-	-
										事後評価	確定 見込み	●	1,347,000	事後評価		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○：評価値が目標値を上回った場合

△：評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×：評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

指 標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	対象13地点の歩行者通行量の目標値は37,200人／日としていたものの、H24年からH28年までの5年間の実績値を踏まえると、H29年の推計値は34,452人／日となり目標値を下回っている。	対象13地点の通行量はH26年を底に減少から増加に転じている。H29年度においても調査を実施し、目標達成度の再確認が必要である。
指標2	柳ヶ瀬地区への年間出店数の目標値を11店舗としていたが、H28年時点で出店数は12店舗と目標値を上回っている。また、H24年からH28年までの5年間の実績値を踏まえると、H29年の推計値は12店舗となり目標値を超えている。	－
指標3	地区内及び隣接地の主要3施設(岐阜城、長良川温泉、長良川鵜飼)への年間観光入込客数の目標値を525,000人／年としていたが、H27年時点で観光入込客数は568,291人／年と目標値を上回っている。また、H23からH27までの5年間の実績値を踏まえると、H29年の推計値は596,000人／年(評価値、見込値)となり目標値を超えている。	－
指標4	両施設の目標値を年間600,000人としていたが、H28年時点で利用者数は年間1,263,982人と目標値を上回っている。また、H27年7月開館からの来場者数の伸び率を踏まえると、H29年の推計値は1,347,000人となり目標値を超えている。	－

添付様式2－② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指 標			データの計測手法と 評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、 対象、具体手法等)	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値(ウ)			本指標を取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課 題等)
		単位			基準 年度		基準 年度					
その他の 数値指標1	事業実施箇所近辺の 歩行者通行量	人/日	本計画区域内の事業箇所近傍 における休日一日の通行者数 (6地点)を計測する。	－	－	4,315	H24	モニタリング		－	指標1では計画区域全体の歩 行者通行量を対象としている が、目標値の達成見込みが見 られない。そのため、本計画で 実施した道路整備事業等の事 業箇所近辺のみに着目し、目 標に掲げる回遊性の向上に一 定の効果があったことを確認す るための指標である。	－
								事後評価	確定			
									見込み	●	5,900	

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○ : 評価値が目標値を上回った場合

△ : 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

× : 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2－参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

・ぎふメディアコスモス及び周辺の一體的な整備により、当該施設周辺に訪れる市民が増加しつつある。さらには、ぎふメディアコスモスに訪れた際に柳ヶ瀬地区まで回遊する市民も増加の兆しを見せており、中心市街地全体ににぎわいが広がつつある。

・災害時に一時的な避難場所として機能を果たす岐阜市長良川防災・健康ステーションの整備により、地元市民にとって安心・安全性の向上に繋がった。また、当該施設で、地元の小学校向けの課外授業を行ったり、長良川の洪水の歴史や洪水時の危険性を周知・啓発するパネルの展示を行うことなどにより、市民の防災意識も高まっている。

・御鯨街道の整備は回遊性を高めるだけでなく、カラー舗装の整備によるドライバーの減速意識の向上や路肩の拡幅により、歩行者の安全性が向上している。

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
なし	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	—	—

添付様式3-② 住民参加プロセスの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業、御鯉街道整備事業、ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)及び長良川プロムナード整備事業において住民説明会を実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】 各事業とも年1回 【実施時期】 ・道路:岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業:H26年 ・高質空間形成施設:御鯉街道整備事業:H27~H29年 ・ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区):H26~H27年 ・長良川プロムナード整備事業:H27~H28年 【実施結果】 ・事業に対する住民の理解が深まったため、事業進行がスムーズに進行したと考えられる。	・事業が完了のため、今後の対応方針は特になし。
みんなの森・ぎふメディアコスモス整備事業において事業説明会を実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】 ・計2回 【実施時期】 ・H27年 【実施結果】 ・事業に対する住民の理解が深まったため、事業進行がスムーズに進行したと考えられる。	・施設整備は、H29年度中に完了予定であるが、引き続き、地域の要望を施設管理等に活かすように努める。
旧加納町役場跡地再整備事業:説明会、打合せ会を実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】 ・説明会:計1回 ・打合せ会:計10回 【実施時期】 ・説明会:H26年 ・打合せ会:H26~H29年 【実施結果】 ・徐々に、跡地再整備に対する地域住民の理解と計画内容の検討が深まってきた。	・今後も継続的に検討を進めるとともに、引き続き、必要な意見交換を行い、事業の実現化に努める。
旧いとう旅館リノベーション事業:産業創造会議の開催、意見募集を実施	予定どおり実施した 予定はなかったが実施した 予定したが実施できなかった (理由)	【実施頻度】 ・産業創造会議(審議会委員による施設活用方法に関する意見交換):計2回 ・意見募集:計1回 【実施時期】 ・産業創造会議:H28年 ・意見募集:H28年11月~12月 【実施結果】 ・施設活用方法について、様々な意見が出され、それらをもとに、今後の活用方法の検討に活かしている。	・今後も継続的に検討を進めるとともに、引き続き、必要な意見交換を行い、事業の実現化に努める。

(仮称)既成市街地再編整備事業で地権者アンケート、まちなか再生協議会の開催、権利者説明会等を実施	予定どおり実施した		【実施頻度】 ・地権者アンケート:計3回 ・まちなか再生協議会:計10回 ・権利者説明会、検討会:計11回 ・個別説明会:計3回 ・個別ヒアリング:計34人／回 【実施時期】 ・地権者アンケート:H24～H26年 ・まちなか再生協議会:H25～H27年 ・権利者説明会、検討会:H24～H27年 ・個別説明会:H26年 ・個別ヒアリング:H24～H27年 【実施結果】 ・中心市街地活性化区域内に点在する低・未利用地(空家、駐車場等)を土地区画整理手法により集約し、都心居住建築物等を建設する事業の立ち上げを目指したもので、権利者との勉強会を通して、事業準備調査と準備組合の組織化に向けて動きだしている。	・本事業はH27年で完了しているが、土地区画整理事業の進展に向けて、権利者等との勉強会、意見交換等を、引き続き、実施していく。
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった(理由)			
立体換地制度を活用した市街地再編整備事業で検討会、個別ヒアリングを実施	予定どおり実施した		【実施頻度】 ・検討会:計2回 ・個別ヒアリング:計4人／回 【実施時期】 ・検討会:H28年 ・個別ヒアリング:H28年 【実施結果】 ・地域住民に土地区画整理事業及び立体換地制度を勉強してもらう機会を提供することが出来た。	・今後も継続する事業であり、採算性や実現性を考慮しながら地権者と密に意見交換を進めていく必要がある。引き続き、検討会や個別ヒアリングを実施していく。
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった(理由)			
岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業において、住民説明会を実施	予定どおり実施した		【実施頻度】 ・説明会:計2回 【実施時期】 ・説明会:H28年7月、8月 【実施結果】 ・事業に対する住民の理解が深まったため、事業進行がスムーズに進行したと考えられる。	・事業が完了のため、今後の対応方針は特になし。
	予定はなかったが実施した	●		
	予定したが実施できなかった(理由)			

添付様式3ー③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名・組織の概要	
なし	予定どおり実施した			
	予定はなかったが実施した	—	—	—
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価 庁内検討委員会	都市建設部(都市建設政策課、歴史まちづくり課、区画整理課)、基盤整備部(道路建設課、道路維持課、水防対策課)、まちづくり推進部(まちづくり景観課)、商工観光部(商工観光政策課)、市民参画部(ぎふメディアコスモス事業課、文化芸術課)	【平成29年10月】	都市建設部都市建設政策課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標2		指標3		指標4		その他の数値指標1	
指 標 名		柳ヶ瀬地区新規出店舗数		観光入込客数		にぎわい拠点施設利用者数		事業実施箇所近辺の歩行者通行量	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見
基幹事業	【道路】岐阜大学医学部等跡地周辺整備事業	○	ぎふメディアコスモスが完成し、憩い・にぎわい広場(カオカオ等)を整備したことで、新たなにぎわい拠点を創出し、新たなにぎわい拠点と本市の玄関口である岐阜駅までの区間は行き交う市民・来訪者の増加が見込まれることから、その中間位置にある柳ヶ瀬地区において事業者の出店意欲が高まったものと考えられる。	○	御鯨街道や金華地区の道路の修景整備を実施するとともに、長良川鵜飼や長良川温泉に近く、市民・来訪者が行き交う空間にプロムナードを整備したことで、観光地としての魅力が向上し、観光地間の回遊性も高まっているものと考えられる。その結果、市中心部に訪れる観光客数の増加を生み出し、主要観光地の入込客数も増加しているものと考えられる。	○	ぎふメディアコスモス及び岐阜市長良川防災・健康ステーションが完成し、新たな施設利用者を直接的に増やす要因となった。市民ニーズにあった施設を整備したことで、開館当初の想定を上回る利用者数を達成することができた。あわせて、ぎふメディアコスモス周辺の道路整備などにより、市中心部の集客力が高まったものと考えられる。	○	計画区域全体の歩行者通行量を対象とした指標1では、目標値の達成見込みが見られない一方、本計画で実施した道路整備事業等の事業箇所近辺の調査地点(6地点)に着目すると、歩行者通行量は30%以上増加しており(指標1の目標は10%増)、計画の目標に掲げる「回遊性の向上」に一定の効果があつたものと考えられる。
	【道路】新庁舎周辺道路整備事業	○		○		○		○	
	【地域生活基盤施設】憩い・にぎわい広場整備事業	◎		○		◎		○	
	【地域生活基盤施設】公共サイン整備事業	◎		◎		○		◎	
	【高質空間形成施設】御鯨街道整備事業	○		◎		○		◎	
	【高質空間形成施設】ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)	○		◎		○		○	
	【高質空間形成施設】岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	○		○		○		○	
	【高質空間形成施設】長良川プロムナード整備事業	○		◎		○		◎	
提案事業	【高次都市施設】みんなの森 ぎふメディアコスモス	○		○		○		○	
	【地域創造支援事業】(仮称)既成市街地再編整備事業	—		—		—		—	
	【地域創造支援事業】立体換地制度を活用した市街地再整備事業	—		—		—		—	
	【地域創造支援事業】岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業	—		—		◎		○	
関連事業	【地域創造支援事業】みんなの森にぎわい創出事業	○		◎		◎		○	
	【事業活用調査】事業分析調査	—		—		—		—	
	【市街地開発事業】高島屋南地区	—		—		—		—	
	【市街地開発事業】岐阜駅東地区	—		—		—		—	
	【都市再生総合整備事業】岐阜駅周辺地区	—		—		—		—	
	【道路】岐阜駅高富線(梶川工区)	○		◎		○		○	
	【効果促進事業】まちなか歩き支援事業	—		—		—		—	
	【公園】岐阜公園再整備事業	○		◎		○		○	
	【国直轄河川事業】長良川岐阜河川防災ステーション	—		—		◎		○	
	【(仮称)中央図書館整備事業】暮らし・にぎわい再生事業	○		○		◎		○	

※指標改善への貢献度

- ◎：事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- ：事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △：事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	市民や来訪者が魅力を感じられる中心部として、商業サービスをはじめ多様な都市機能が立地した質の高い都市空間の整備を行い、更なる市中心部全体の活性化を図る。	既存の観光資源の活用を図るPRの実施や観光資源の充実を図り、市中心部全体を観光拠点として多くの観光客が訪れるよう、ソフト・ハードの充実を図る。	ぎふメディアコスモスを中心とした新たなにぎわい拠点の魅力をより一層高め、更なる交流人口の増加とにぎわいの創出を図る。	引き続き道路の修景整備や公共サインの設置について検討するとともに、来訪者の回遊を促す拠点整備などを行い、中心市街地全体の回遊性の向上を図る。
-------	--	---	--	--

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標1			-			-			-		
指 標 名		主要地点歩行者通行量			-			-			-		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類
基幹事業	【道路】岐阜大学医学部等跡地周辺整備事業	△	本計画区域内に位置する調査対象13地点の通行量はH24～H26年にかけて減少しているものの、計画開始年のH26年からV字回復をしており、H26年以降の通行量は増加傾向に転じている。各種道路の修景整備や公共サインの設置を実施した近辺の調査地点においても通行量は増加傾向にある。	Ⅲ		-	-		-	-		-	-
	【道路】新庁舎周辺道路整備事業	△											
	【地域生活基盤施設】憩い・にぎわい広場整備事業	△											
	【地域生活基盤施設】公共サイン整備事業	△											
	【高質空間形成施設】御鮎街道整備事業	△											
	【高質空間形成施設】ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)	△											
	【高質空間形成施設】岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	△											
	【高質空間形成施設】長良川プロムナード整備事業	△											
提案事業	【高次都市施設】みんなの森 ぎふメディアコスモス	△											
	【地域創造支援事業】(仮称)既成市街地再編整備事業	-											
	【地域創造支援事業】立体換地制度を活用した市街地再整備事業	-											
	【地域創造支援事業】岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業	△											
	【地域創造支援事業】みんなの森にぎわい創出事業	△											
関連事業	【事業活用調査】事業分析調査	-											
	【市街地開発事業】高島屋南地区	-											
	【市街地開発事業】岐阜駅東地区	-											
	【都市再生総合整備事業】岐阜駅周辺地区	-											
	【道路】岐阜駅高富線(梶川工区)	△											
	【効果促進事業】まちなか歩き支援事業	-											
	【公園】岐阜公園再整備事業	△											
	【国直轄河川事業】長良川岐阜河川防災ステーション	△											
	【(仮称)中央図書館整備事業】(暮らし・にぎわい再生事業)	△											

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)	引き続き、新たににぎわい拠点として誕生したぎふメディアコスモス周辺の一体的な整備を進め、より一層の魅力を高めていくとともに、本市の玄関口である岐阜駅周辺の拠点整備など、市民や来訪者の回遊を促す事業を推進していく必要がある。	-	-	-
------------------	---	---	---	---

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
事後評価 庁内検討委員会	都市建設部(都市建設政策課、歴史まちづくり課、区画整理課)、基盤整備部(道路建設課、道路維持課、水防対策課)、まちづくり推進部(まちづくり景観課)、商工観光部(商工観光政策課)、市民参画部(ぎふメディアコスモス事業課、文化芸術課)	【平成29年10月】	都市建設部都市建設政策課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
商業業務ゾーンの再生と観光 拠点の整備による交流人口 の増加と市街地の活性化	・ぎふメディアコスモス及び周辺の一体的な整備や長良川プロムナードなどの整備により、商業ゾーンの柳ヶ瀬地区や岐阜城などの主要観光地において交流人口の増加が見られるようになり、中心市街地の活性化が図られ始めている。	・商業ゾーンの柳ヶ瀬地区は新規出店舗数が増加しつつあるものの、本市を代表する主要な商業地として集客力を高め、更なる活性化が求められる。	—
魅力的な都心生活圏の創出 による交流人口の増加とコ ミュニティの再生	・図書館や市民活動交流センターの機能を有するぎふメディアコスモスの完成、憩い・にぎわい広場(カオカオ等)や長良川防災・健康ステーションなどの整備により、市民にとって魅力的な都心生活圏が創出され始めている。また、ぎふメディアコスモスや憩い・にぎわい広場(カオカオ等)にて各種イベントの開催もスタートし、市民をはじめとした施設利用者間において交流促進が図られている。	—	
歩行者優先の回遊ネットワ ーク整備への転換によるヒュー マンスケール型まちづくりの推 進	・従前値を設定したH24からH26にかけて、歩行者通行量は減少傾向にあった。しかしながら、計画開始年のH26以降は、増加傾向に転じている。	・計画開始年のH26以降、計画区域全体の歩行者通行量は増加傾向にあるものの、H29は目標値に達成しない見込みである。歩行者優先のまちづくりに向けて、回遊ネットワークの整備を進めていく必要がある。	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5－③ 今後のまちづくり方策

A欄 効果を持続させるため に行う方策	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
	更なる中心市街地の活性化に向けた、新たなにぎわい拠点の活用	・新たににぎわい拠点として誕生したぎふメディアコスモスやみんなの広場カオカオを活かした継続的なイベントの実施や、当該施設周辺により多くの市民・来訪者を集客する施設整備の充実を図るなど、にぎわいを持続させるための施策を推進していく。	みんなの森にぎわい創出事業（イベント・催しの開催） つかさのまちにぎわい広場の整備
	更なる魅力的な都心生活圏の創出に向けた、都市機能の集約	・当該地区は、H29.3に策定した立地適正化計画の都市機能誘導区域、居住誘導区域に位置づけられている。更なる魅力的な都心生活圏の創出に向けて、市民にとって利便性が高く、更なる交流促進が図られる都市機能の強化を図っていく。	市民交流センターの整備 子育て支援センターの整備

B欄 改 善 策	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
	歩いて出かけたいくなる中心市街地の形成	・市民の誰もが公共交通や自転車、自動車を利用して中心市街地に訪れることができるよう、公共交通や駐車場における利用環境の整備を促進する。 ・徒歩でアクセスして利用できる生活サービス施設の充実を図るため、道路の修景整備や公共サインの設置に加えて岐阜駅周辺で予定している市街地再開発事業や土地区画整理事業などを推進し、歩いて出かけたいくなる中心市街地の形成を目指す。	市街地再開発事業（高島屋南地区、岐阜駅東地区） 道路空間の整備 まちなか歩き支援事業
	中心市街地の商業地としての魅力の向上	・空き店舗等の活用による新規出店の促進や継続的なイベント等の活動の促進を図り、中心市街地の商業地としての魅力を高める施策を推進していく。	空き店舗を活用した新規出店者への支援

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5－③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。（チェック欄）

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題（都市再生整備計画）を再確認した。
●	事業の実施過程の評価（添付様式3）を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用（添付様式4－②）を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針（添付様式4－③）を再確認した。
●	残された課題や新たな課題（添付様式5－②）を再確認した。

添付様式5－参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

なし

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

- ・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
- ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指 標		単位	従前値		目標値		評価値		目標達成度	1年以内の達成見込みの有無		フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度				あり	なし	予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	主要地点歩行者通行量	人/日	34,067	H24	37,200	H29	確定		34,452	△	あり	平成30年11月	平成29年度の歩行者通行量を把握した後、対象13地点の合計値を求め、確定値とする。	
							見込み	●			なし			
指標2	柳ヶ瀬地区新規出店舗数	店	9	H23	11	H29	確定		12	○	あり	平成30年11月	平成29年度の新規出店舗数を把握した後、平成25年度～平成29年度の5年間の平均値を求め、確定値とする。	
							見込み	●			なし			
指標3	観光入込客数	人/年	521,709	H24	525,000	H29	確定		596,000	○	あり	平成30年11月	平成30年に公表される「岐阜県観光入込客統計調査結果」より、平成29年度における対象3施設の観光入込客数の合計値を求め、確定値とする。	
							見込み	●			なし			
指標4	にぎわい拠点施設利用者数	人/年	0	H25	600,000	H29	確定		1,347,000	○	あり	平成30年11月	ぎふメディアコスモス及び長良川防災・健康ステーションの平成29年度の年間利用者数を把握した後、利用者数の合計値を求め、確定値とする。	
							見込み	●			なし			
指標5							確定				あり			
							見込み				なし			
その他の数値指標1	事業実施箇所近辺の歩行者通行量	人/日	4,315	H24			確定		5,900			平成30年11月	平成29年度の歩行者通行量を把握した後、対象6地点の合計値を求め、確定値とする。	
							見込み	●						
その他の数値指標2							確定							
							見込み							
その他の数値指標3							確定							
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	-	・指標設定にあたっては、外的要因の影響の有無を十分考慮する必要がある。
	うまくいかなかった点	・歩行者通行量の指標は13地点の合計値によるものであるが、いずれの調査地点も本都市再生整備計画事業以外の外的要因を受けている可能性があり、見込値も目標値を達成できない結果となった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	-	・数値目標と事業の結びつきは、効果発現要因の整理の際に必要となるものであり、記録を保管しておく必要がある。
	うまくいかなかった点	・数値目標の算出方法は把握できたものの、事業との結びつきの記録が残っていなかった。	
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・各種事業の住民説明会を実施したことで、事業に対する住民の理解が深まり、円滑な事業進行を行うことができた。 ・市街地再開発事業の検討会を実施したことで、住民に土地区画整理事業及び立体換地制度を勉強してもらう機会を提供することができた。	・事業に関する説明会や勉強会は、円滑な事業進行に有効的であり、今後も各種事業の実施にあたっては住民参加を促進していく。
	うまくいかなかった点	-	
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・採用した指標は、統計書や担当部署等により毎年度整理されているデータであり、スムーズにH29見込値を算出することができた。来年度のフォローアップも実施しやすいものと考えられる。	・毎年度整理されているデータを用いることで、モニタリングも実施しやすいものと考えられる。モニタリングは、その後の事業の進め方を見直すことができるため、今後の都市再生整備計画事業のなかで、モニタリングの実施について検討していく。
	うまくいかなかった点	-	
その他	うまくいった点	-	-
	うまくいかなかった点	-	

添付様式6ー参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

- ・今後の都市再生整備計画事業の活用予定
本都市再生整備計画の今後のまちづくりの方策を踏まえ、岐阜中央部地区都市再生整備計画事業を予定している
- ・今後、事後評価を予定する地区
なし

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市のホームページに掲載	平成29年10月16日～10月30日	平成29年10月16日～10月30日	担当課への意見書提出等	都市建設部 都市建設政策課
広報掲載・回覧・個別配布	「広報ぎふ」にて、市ホームページで原案を公表している旨を掲載	平成29年10月15日号	平成29年10月16日～10月30日		
説明会・ワークショップ	-	-	-		
その他	都市建設政策課窓口での閲覧	平成29年10月16日～10月30日	平成29年10月16日～10月30日		

住民の意見	特になし
-------	------

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	倉内 文孝（岐阜大学工学部社会基盤工学科 教授）	平成29年11月7日	都市建設部 都市建設政策課	岐阜市都市再生整備計画事業評価委員会要綱をもとに設置	学識経験者を中心に組織している都市再生整備計画事業評価委員会を母体とする
その他の委員	堀 暁美（岐阜県建築士会） 高木 智（日本技術士会中部本部岐阜県支部） 古川 洋治（岐阜市商店街振興組合連合会） 松原 竹夫（徹明自治会連合会）				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価手続き等にかかる審議	方法書	・方法書の記載事項について説明を行い、事後評価を適切に実施していることが確認された。
	成果の評価	・回遊性向上を評価する指標「歩行者通行量（指標1）」は目標値を達成できない結果となった。しかしながら、本計画開始年のH26以降は歩行者通行量の増加が続いており、H26年基準の評価ではH29目標値を上回る見込みである点、さらにレンタサイクルの利用者数が増加傾向にある点を踏まえ、回遊性向上に一定の効果があると委員の理解を得た。
	実施過程の評価	・住民参加プロセスを適切に実施していることが確認された。
	効果発現要因の整理	・柳ヶ瀬地区は新規出店舗数の増加だけではなく、撤退した店舗数も把握しておくことが望ましいとの意見をいただいた。
	事後評価原案の公表の妥当性	・事後評価原案の公表は、妥当であることが確認された。
	その他	・回遊性向上を評価する指標設定は、「歩行者通行量」のほかにWi-Fi受信により人の流れを把握するなど、調査に工夫ができればよいと意見をいただいた。
	事後評価の手続きは妥当に進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは、妥当であることが確認された。
今後のまちづくりについて審議	今後のまちづくり方策の作成	・柳ヶ瀬地区は新規出店舗数が増加しているものの、まだまだにぎわいを発展させていく必要があるとの意見をいただいた。 ・車を利用して中心市街地に訪れる市民や来訪者が多いことから、歩いて出かけたくなる中心市街地を目指すと同時に、駐車場の利用環境の整備の促進が必要であるとの意見をいただいた。
	フォローアップ	・見込値となっている指標のフォローアップ調査を平成30年度に実施することを説明し、理解を得た。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は、妥当であることが確認された。
その他		・特になし。

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—	—	—
—	—	—

有識者の意見	—
--------	---

都市再生整備計画(第6回変更)

岐阜市中心部地区

岐阜県 岐阜市

平成29年11月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	岐阜県	市町村名	岐阜市	地区名	岐阜市中心部地区	面積	248 ha
計画期間	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度			交付期間	平成 26 年度 ～ 平成 29 年度		

目標

- 岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、金華山エリアへの回遊性を向上させ、柳ヶ瀬やぎふ・メディアコスモスを中心としたにぎわいを創出し、中心市街地全体の活性化につなげる。
- 歴史文化あふれるまちを守りながら、長良川防災・健康ステーションなどの新しいにぎわい施設を整備し、都市機能の再構築を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

■歴史的経緯と問題点

本地区は岐阜市の中心市街地において、戦災復興区画整理に始まる様々な基盤整備事業により、県都の政治的・経済的な中枢地域として発展してきたが、商業施設などの郊外化により都心部の空洞化が進行していることから、現在2期岐阜市中心市街地活性化基本計画を策定し、岐阜駅前の問屋町から柳ヶ瀬にかけての商業エリアの活性化に取り組んでいるところである。

戦国武将織田信長ゆかりの地であり、市の中心部には、当時の城下町や番目の宿場町である中里道加納宿の風情が色濃く残されており、歴史文化薫るまちづくりと都市機能の集約化による中心市街地の活性化を両立する必要がある。

■第1期及び第2期計画について（岐阜市都心北部地区と岐阜南部地区）

第1期計画、第2期計画では、長良川鶴岡ゾーンの観光資源の整備やぎふメディアコスモスなどの地域交流拠点施設の整備を行い、さらに柳ヶ瀬等へとネットワークで結び、地区全体としての回遊性を高めようとした。

さらに、まちなか居住を強力に推進するため、新たに中学校を整備し、通学距離の大幅な改善を行うなど、地域生活の核となる施設の整備を進めてきたところであるが、地域交流拠点施設の整備を進め、都市機能の集約化を進めつつ、スマートウエルネスシティ(SWC)総合特区に関連した事業と連携し、回遊性の向上、歴史文化を生かした個性的なまちづくりによるにぎわいの創出が求められている。

課題

- 商業業務ゾーンの再生と観光拠点の整備による交流人口の増加と市街地の活性化
- 魅力的な都心生活圏の創出による交流人口の増加とコミュニティの再生
- 歩行者優先の回遊ネットワーク整備への転換によるヒューマンスケール型まちづくりの推進

将来ビジョン(中長期)

(岐阜市総合計画2013)

- ・「まちの顔」を形成するJR岐阜駅周辺から岐阜大学医学部等跡地までのにぎわい景観や生活環境に調和した景観を形成します。
- ・金華山や長良川などの自然と歴史的まちなみ、現代的まちなみが調和した美しい眺望景観を形成します。
- ・「つかさのまち夢プロジェクト」などを推進し、岐阜大学医学部等跡地周辺のにぎわいを創出します。
- ・柳ヶ瀬とJR岐阜駅周辺、岐阜大学医学部等跡地周辺の回遊性を高めるため、まちなか歩きの推進や歩行空間、自転車歩行空間の整備などに取り組みます。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
主要地点歩行者通行量	人/日	地区内の事業箇所近傍13地点におけるある一日の通行者数	端的ににぎわいの度合いを示し、まちの回遊性の向上を測る指標	34,067	(H24年度)	37,200	(H29年度)
柳ヶ瀬地区新規出店舗数	店舗数	柳ヶ瀬地区に新規に出店する店舗数	まちのにぎわい度や中心部の活性化の度合いを示す指標	9	(H23年度)	11	(H29年度)
観光入込客数	人/年	地区内及び隣接の主要観光3施設の年間入込客数	観光地としての魅力を示し、歴史文化薫るまちづくりを図る指標	521,709	(H24年度)	525,000	(H29年度)
にぎわい拠点施設利用者数	人/年	ぎふメディアコスモス及び長良川防災健康ステーション利用者数	交流拠点施設の整備による賑わいの創出を示す指標		(H25年度)	600,000	(H29年度)

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針		方針に合致する主要な事業
■岐阜駅周辺から柳ヶ瀬、金華山エリアへの回遊性を向上させ、柳ヶ瀬やぎふメディアコスモスを中心としたにぎわいを創出し、中心市街地全体の活性化につなげる。		■基幹事業 ・道路：岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業 ・道路：新庁舎周辺道路整備事業 ・地域生活基盤施設（広場）：憩い・にぎわい広場整備事業 ・地域生活基盤施設（情報板）：公共サイン整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：御膳街道整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：ゆとり・やすらぎ道空間事業（金華地区） ・高質空間形成施設（植栽、歩道整備等）：岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、植栽等）：長良川プロムナード整備事業 ・高次都市施設（地域交流センター）：みんなの森　ぎふメディアコスモス □提案事業 ・地域創造支援事業：みんなの森にぎわい創出事業 ◆関連事業 ・暮らし・にぎわい再生事業（岐阜大学医学部等跡地地区） ・都市再生総合整備事業（岐阜駅周辺地区） ・街路事業（岐阜駅高富線　梶川工区） ・効果促進事業（まちなか歩き支援事業）
	■歴史文化あふれるまちを守りながら、長良川防災・健康ステーションなどの新しいにぎわい施設を整備し、都市機能の再構築を図る。	■基幹事業 ・地域生活基盤施設（広場）：憩い・にぎわい広場整備事業 ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：ゆとり・やすらぎ道空間事業（金華地区） ・高質空間形成施設（カラー舗装、照明施設等）：御膳街道整備事業 ・高次都市施設（地域交流センター）：みんなの森　ぎふメディアコスモス □提案事業 ・地域創造支援事業：（仮称）既成市街地再編整備事業 ・地域創造支援事業：立体換地制度を活用した市街地再編整備事業 ・地域創造支援事業：岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業 ◆関連事業 ・高島屋南地区市街地再開発事業 ・岐阜駅東地区市街地再開発事業 ・岐阜公園再整備事業 ・国直轄河川事業（長良川岐阜河川防災ステーション）

その他

交付対象事業等一覧表

交付対象事業費	1,631	交付限度額	652.4	国費率	0.400
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
	細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
基幹事業	道路	岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	岐阜大学医学部等跡地周辺	岐阜市	直	L=340m	22	26	26	26	262	262	262	262	…A
		新庁舎周辺道路整備事業	市道司町1号線、司町2号線	岐阜市	直	L=320m	29	32	29	29	346	44	44	44	
	地域生活基盤施設(広場)	憩い・にぎわい広場整備事業	岐阜市	直	1.2ha	22	27	26	27	1,451	200	200	200		
	地域生活基盤施設(情報板)	公共サイン整備事業	岐阜市	直	N=5基	26	26	26	26	19	10	10	10		
	高質空間形成施設(カラー舗装、照明施設等)	御臨街道整備事業	岐阜市	直	L=1640m	22	28	26	28	180	180	180	180		
	高質空間形成施設(カラー舗装、照明施設等)	ゆとり・やすらぎ道空間事業(金華地区)	岐阜市	直	L=910m	21	28	26	28	86	86	86	86		
	高質空間形成施設(植栽、歩道整備等)	岐阜大学医学部等跡地周辺道路整備事業	岐阜市	直	L=340m	22	26	26	26	134	33	33	33		
	高質空間形成施設(カラー舗装、植栽等)	長良川プロムナード整備事業	岐阜市	直	L=650m	27	29	27	29	208	208	208	208		
	高次都市施設(地域交流センター)	みんなの森 ぎふメディアコスモス	岐阜市	直	0.7ha	16	28	26	28	1,785	221	221	221		
	合計										4,471	1,244	1,244	1,244	
提案事業															
提案事業	事業		事業箇所名	事業主体	直／間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体 事業費	交付期間内 事業費		交付対象 事業費	
	細項目	開始年度					終了年度	開始年度	終了年度	うち官負担分		うち民負担分			
	地域創造 支援事業	(仮称)既成市街地再編整備事業	玉宮町周辺	岐阜市	直	約100ha	21	27	26	27	10	10	10	10	…B
		立体換地制度を活用した市街地再編整備事業	玉宮町周辺	岐阜市	直	0.2ha	28	29	28	29	8	8	8	8	
		岐阜市長良川防災・健康ステーション整備事業	長良川堤敷	岐阜市	直	約1000㎡	26	27	26	27	312	312	312	312	
		みんなの森にぎわい創出事業	岐阜市中心部地区	岐阜市	直	—	26	29	26	29	52	52	52	52	
事業活用調査	事業分析調査	岐阜市中心部地区	岐阜市	直	—	26	29	29	29	5	5	5	5		
合計										387	387	387	387		
													合計(A+B)	1,631	

[illegible]